

根子岳ハイキングー高山植物を求めて (2018/6/18)

mh

6月18日根子岳に登って来た(参加者8人)。根子岳と言ってもすぐにピンとくる人は少ないに違いない。根子岳は、田中澄江の「花の百名山」*¹にウメバチソウの山として取り上げられている標高2,007mの山で、1,600mの菅平牧場駐車場まで車で行ける、初心者でも気楽に行ける比較的登りやすい山だ。実はこの計画は高山植物に詳しいAさんの、西沢溪谷ハイキングの際に、次はウメバチソウの時期ではないが、レンゲツツジが綺麗な根子岳に行かないかとの提案を受けてのものだった。ただ単にハイキングがしたい人、花に興味がある人、そしてネットで花の名前を調べて自前の植物図鑑を作っている筆者が、花の名前を調べなくていい、同行の先生に聞けばいい！これはラッキーとばかり賛同し決まったものだが、次の予定日は、という段になって、6月下旬？これは梅雨に入っていると筆者は心配しきり。決行の当日まで、天気予報はころころ変わり、おまけに台風6号が接近する始末。しかし、台風は温帯低気圧に変わり、菅平周辺の天気予報は比較的いい、よし！決行と決断する。

当日の朝、天気予報をチェックすると午後から弱い雨の予報、しまった！しかしもう遅い。家を6時前に出る。入間市内で同乗者をピックアップし、途中の上里パーキングエリアでもう一台とランデブーし、いざ、菅平牧場に。9時頃到着。準備体操をして登り始める。後ろを振り返ると、薄い雲の上に雪溪の白い筋を描いて北アルプスの峰々が神々しく、視野の大部分を占めるほど広がって林立している。特徴的なとがったピークは槍ヶ岳、その左の方に、燕、穂高。そして右には五竜、白馬が、戸隠や焼岳、火打山なども見える。素晴らしい景色に圧倒される。そして、足元にはいろんな高山植物が、カラフトイバラ、イチヤクソウ、ミヤマアズマギク、ショウジョウバカマ、マイズルソウ、ハクサンチドリなどなど、そして、白樺林の明るい緑のなかに、朱色のレンゲツツジが程よい間隔で咲いている。「緑と赤は補色」だから映えると絵を習っている同行者がつぶやく、素直に納得。頂上に出ると、比較的風は弱いものの、気温が低い。多分15℃ぐらいか。汗をかいた体には寒い、雨よけのヤッケや上着を着こみ寒さをしのぐ。Aさんが持ってきてくれた暖かいコーヒーがおいしい。頂上付近では、6月下旬なのにミネザクラが咲いていた。そして下山。途中の四阿(あずまや)で、登山より花の鑑賞とワラビ採集を優先させた同行者と合流、記念撮影。暫く、牧場の中に入ったりして休憩し駐車場へ。牧場売店で、牛乳を飲んだり、花のリーフレットを買ったりして帰途につく。入間・狭山には午後6半ごろ帰着。結局雨には降られず、帰り間際には薄日まで射す天気だった。これは「晴れ女」の「U子」姉さんのお蔭か？今後、「U子効果」*²ということにしよう。なお次回の具体的な計画はないが、また行こうね。

*1:「花の百名山」:田中澄江著、文春文庫、840+税、2017に新装文庫版が発刊された。

*2:「U子効果」:U子女史が当該行事に参加することにより、梅雨時でも、少々予報が悪くても、雨は降らず、場合によっては薄日さえ射すこと。U-ko effect と同じ。



菅平牧場 駐車場 No.1 (標高 1,600m)からこれから登る根子岳を見る



菅平牧場の横を登っていく



カラフトイバラ



アズマギク



キンポウゲ



ズミ



レンゲツツジと白樺



レンゲツツジとダケカンバ、白樺の中を進む



ハクサンチドリ



マイズルソウ



ミツバオウレン



イチヤクソウ



イワカガミ
(アルバム 2 に沢山載せました)



スズラン



ツマトリソウ



根子岳の頂上から見る北アルプスのパノラマ



根子岳山頂（標高 2,207m）



四阿（あずまや）のある展望台にて登ってきた根子岳をバックに



四阿（あずまや）周りのレンゲツツジの前に立って